

テーマタイトル

Network Meta-analysis

テーマ紹介文

利用可能なエビデンスを集約するための手法として、ネットワークメタアナリシス(Network Meta-Analysis : NMA)が、近年、薬剤疫学・医療技術評価学などの分野で注目されている。NMA は古くからの2種類の治療法の対比較のメタアナリシスを拡張した統計手法であり、関心のある治療同士の直接比較を含む試験が存在しなくても、間接的にその治療効果の差を評価できるという特徴を持つ。医薬品開発に関連する様々な問題への応用が期待されている一方で、従来のメタアナリシスとは異なるNMA特有の統計的課題や解釈上の注意事項が存在する。また非生物統計担当者との間でNMAについて議論が必要な場面も増加している。

本グループでは、午前中は講義形式でNMAに関する基本的な理論・方法や数理的な背景、現実問題への応用事例について学ぶ。午後はNMA についての経験に基づきグループを分け、以下の議論を行う。

- ・ NMAの実施及び結果解釈上の留意点についての非生物統計担当者とのコミュニケーション方法や、NMA の臨床開発段階への活用、特に臨床試験の計画に活用可能な場面やその限界について議論を行う
- ・ NMAの経験者については、NMAの解析を実施する上で疑問や悩んでいる事柄について幅広く議論を行う

製薬協資料(2019) ネットワークメタアナリシスの概要および留意事項— ISPOR レポート(2011)を参考に —

https://www.jpma.or.jp/information/evaluation/results/allotment/lofurc000000b8vb-att/nma_20191110.pdf

製薬協資料(2020) NICE TSD Evidence Synthesisシリーズの紹介: ネットワークメタアナリシスを中心として

https://www.jpma.or.jp/information/evaluation/results/allotment/lofurc000000c6n6-att/nice_tsd_evidence_synthesis.pdf

第 3 回データサイエンスラウンドテーブル会議

【テーマ1】 Network meta-analysis

<https://www.pmda.go.jp/review-services/symposia/0049.html>